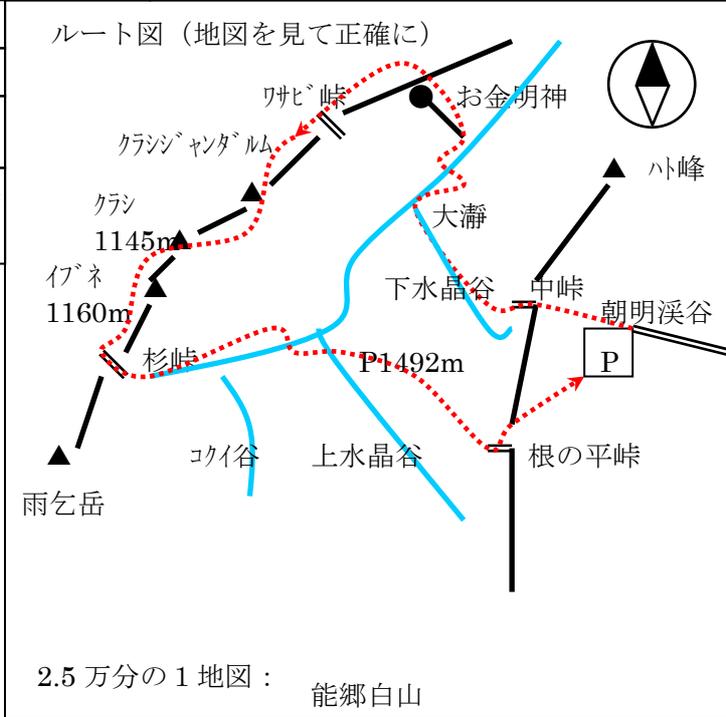


11月度 例会 山行報告書		報告者	中山 正夫	参加 メンバー	中山 正夫(記)
11月度 個人 山行報告書		報告日	11/12		
山 域	鈴鹿山脈	山行日	14年 11月 8日 (土)		
山 名	クラシ・イブネ				

山行目的	鈴鹿の神崎川溪谷の秋を楽しむ	コースタイム (天候: 天気図記号)	
------	----------------	--------------------	--

配布先	
集会:12	
山行: 1	
リーダー	
原紙: 集会担当者	



11/8(土)晴れ後曇り
2:50 起床
3:20 自宅発
5:10 朝明溪谷駐車場着
5:20 駐車場発
5:55~6:00 休憩
6:40~:50 中峠
7:15~:20 大瀨
8:15~:20 お金明神
8:35~:45 小峠
9:35~:45 クラシ・ヤングルム
10:35~:45 クラシ頂上
10:55~:11:00 イブネ頂上
11:30~:50 杉峠(※1)
12:30 コイ谷出合
13:10~:20 上水晶谷
13:30 根の平峠通過
14:30 朝明溪谷着
16:50 自宅着

※1: 元亀元年(1570年)織田信長が京から岐阜に帰る途中の千種街道にて狙撃されたとされる場所

小峠(人面岩)

〈山行報告〉11/7(土)3:20 バイク自宅発で、豊明 IC-伊勢湾岸道-四日市-朝明溪谷の駐車場 5:10 着。ヘッドランプ点けて歩きですが、中峠への道が砂防堤の上で不明、明るくなるまで少し待つ。中峠 6:40 着、ゆるやかな谷筋を下り大瀨 7:15 着、鉄の橋が傾き通行不可のため神崎川本流を渡渉する、水量多く左足を濡らす。下流に向かいお金の谷の取付きで迷う、しっかり読図してこの谷と確信する。谷の途中から右にトラバースして急登し、8:15 忽然とお金明神(人面岩)が現れる。この岩はクラシ北尾根の主稜線になく、枝尾根の藪の中の斜面にあり、ルートファインディングが非常に難しい。お金が貯まるようお願いして、主稜線のお金峠から小峠 8:35 着、ここまで枝尾根多くルート不明瞭、クラシ・ヤングルムは痩せた岩稜で石楠花が行く手を遮る。やがてなだらかな草原状になり、クラシ頂上は標高 1000m 級の大平原で鈴鹿のイメージと違う。イブネ北端まで少し登り、イブネ 1160m ほどがピークか判明せず、あちこちの灌木に手製看板が付けられている。11:00 に写真だけ撮り佐目峠のお尻岩を通過、杉峠の頭に少し登り、杉峠 11:30 着、今日初めての登山者女性 3 人に会う。峠の大杉は枯れており、かつて織田信長が杉谷善住坊に狙撃された頃とは違った景色となったか?

カッパ 麺で昼食後、11:50 下山開始、コイ谷出合でコの字形に 2 回渡渉、飛び石にスリあり。鈴鹿の上河内と言われる上水晶谷出合は紅葉の下テント 2 張あり、気持ちよさそうなテ場でいつかまたテント泊したい。にぎやかな団体さんを追抜き 13:30 根の平峠通過し、ひたすら砂防堤を何回か乗越し、朝明溪谷 14:30 着。バイク快調に飛ばし 16:50 自宅着。

〈リーダー所見〉久しぶりに鈴鹿の紅葉とお金明神やクラシ・ヤングルムの名前に惹かれて、神崎川(愛知川)周辺の山を選んだ。ルート核心部は基本的には道なしなので、要所で慢心を抑え読図を謙虚に行った結果、ほぼ思い通りに歩けた。ルート後半では歴史に思いをはせる。また、若いころ歩荷で汗を流し、上水晶谷でキャンプしたことを懐かしんだ。

秋風に峠なつかし 杉枯れて
流れる時空 僕はまだまだ
沖仙

黄テント 上水晶谷 赤かえで
大草原 イブネの空に イヌワシが舞う
高空にお金明神 屹立す

確認 (リーダー)	
中	
14/11/10	
山	
作成 (報告者)	
中	
14/11/10	
山	